



Numazu association for International Communications &amp; Exchanges

Vol.57

発行日 2006年3月31日  
発行者 NICE 沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内  
☎055-934-4717



盛りだくさんな  
イベントの1年でした!

ふれあい部会

## マレーシア青年たちと



今回で19回目となる「青年招へい事業」は、1月23日～31日にマレーシア農業青年23名を受け入れました。マレーシア青年の受け入れは初めてなので、1月13日に事前の勉強会をもち国立沼津高専の留学生にマレーシアの文化・習慣などを話していただきました。

1月23日は沼津到着後オリエンテーション、市長表敬訪問を行い、夜には万葉の湯で座敷での歓迎会を行いました。和食を楽しみ、お琴の演奏を楽しみました。お琴は青年たちも教えていただき実際に弾くことができました。



24日はJA南駿にご協力いただき農業講義を受け、午後には手もみ茶の体験、いちご狩りと農業体験をしました。いちご狩りで甘くて美味しいいちごを食べ過ぎたせいか、夕食時にはまだお腹が空いていなかったようです。

25日の午前中は、地震・津波対策の講義を受け、びゅうおの視察を行いました。2004年に起こったスマトラ沖地震も記憶に新しく、青年たちは真剣に講義を受けていました。また、午後は陶芸体験を行い、ろくろを回し思い思いに絵付けをしました。焼きあがった湯のみを送別会の席で手渡してもらい、自分たちの作品に満足そうでした。



夕刻には、扇屋さんのご好意で青年たち全員が着物を着ることができました。色鮮やかな成人式用の振袖を着せてもらい、髪も結い髪飾りをつけてもらい女性軍は大喜びでした。



26日の午前中は羽野シーフーズを視察し、あえつくり場で干物加工を体験しました。青年たちのアジを開く手つきの良さには随行スタッフも驚きました。この日に作ったアジの干物はホームステイ先へのお土産となり朝食に家族と一緒に食べました。



## ふれあい部会

午後は、戸田地区を視察し、北山の棚田、戸田漁港を訪れ、NPO戸田塩の会の実演を見せていただきました。

27日～29日は、青年たちが一番楽しみにしていたホームステイでした。ホストファミリーとの対面式では緊張していた青年たちもホストファミリーとの2泊3日は本当に楽しく過ごせたようです。ホームステイでは実際の日本の生活・習慣を経験することができ、多くの思い出を作ることができました。



30日には東急ホテルで歓送会を行いました。お世話になった研修先の方々、ホストファミリーの方々、NICEのスタッフが一堂に会し8日間の思い出話を楽しみました。マレーシアの踊りや歌も披露してもらいました。会の最後は、参加者全員による炭鉾節で締めくくりました。

スタッフの皆さん、研修先の皆さん、そしてホストファミリーの皆さん、ご協力ありがとうございました。皆さんのおかげで、評価会の席でも、高い評価を得ることができました。また、青年たちからのお礼の手紙、メールも多く寄せられています。

## 初めてのホストファミリー

山本民世

初めて外国人が我が家に泊るという一大事に、迎える前から不安と緊張で必要以上に気を遣っていたような気がします。言葉は？ 食事は？ どこに連れて行ってあげたらいいの？ 等何から何までもが不安でした。三日間の行動は勝又さんご家族と共にして頂きましたので、お互い情報交換もできましたし、シティとナズルルにとっても一人で気を遣う不安は少なかったと思います。

言葉の壁は、片言の英語と身振り手振りで十分通じ合えましたし、同世代の息子・娘とは特に会話が弾み、お互いの国の紹介、家族の紹介、遊び、歌、バドミントン等友情は深められました。

私の担当は食事と健康管理です。シティ手作りの鰯の開き、マレーシア料理、ちらし寿司、鍋料理等お互いの料理に舌鼓をうち、味の違いを確かめ合い、食を通して国際交流もできました。一番の心配はシティの風邪でした。少し咳が出る程度だったのが日を迫る毎にひどくなっている様子でした。薬や病院も勧めたのですが、「OK、OK」と心配を掛けさせまいとがんばってくれていました。暖房、布団、カイロに気配りが足りなかったと深く反省しています。

突然受けることになったホストファミリーは、貴重な体験でした。「案ずるより産むは易し」でした。人は心で通い合うことができると信じ、我が家での風邪の体験が苦い思い出になっていないことを祈っています。



## 岳陽部会

# 春節 快 楽

1月29日(日)沼津市新仲見世商店街において第14回春節祭を開催いたしました。中国を中心とするアジア各地で行われている旧暦のお正月を近隣在住の外国の人たちや商店街に来られた人たちと楽しみました。前日の寒さと打って変わって、過ごしやすい一日でした。昨年までは建物の中で行っていましたが今年は商店街の協力もあって開放感を満喫できるストリート上での開催となりました。公道での開催は初めての事であり多少不安もありましたが道行く人たち、商店街のみなさんの協力のもとに、クラッカーの音を合図に開会し、楽しい一日を過ごしました。



中国民族衣装をまとった中国伝統楽器の胡弓演奏、太極拳に似た花架拳の舞、中国の歌、中国文化に負けじと和太鼓の演奏、銅鑼の音…。目に耳にと色々楽しんだ中でも太鼓の体験には外国の人たちも初めての撥さばきに感動した事でしょう。他方、静を求める文化交流として、指文字書道の実演もありました。これは友好都市岳陽市出身、現在宇都宮在住の唐懐岳先生が遠方より来沼され、親指と小指を使って筆には求められない独特の書道芸術の披露でした。先生は3年前にも来沼されましたがその芸術性にしばし立止まり希望する文字、語句を書いてもらい取得する人もいました。

また、協会員の塩川さん



の山水画等の墨絵が多数展示され、好みの絵を選び、大切に持ち帰った人も大勢いました。

今回は昨年の沼津市・岳陽市友好提携20周年記念に岳陽を訪問した時の記録写真などが大々的に取り上げられ、ボードに展示され、道行く人も立止まり、見入っていました。



また、訪問中に世界の卸売り小商品市場と言われている義烏で購入してきた雑貨を販売しました。ネックレス200円、ストラップ50円、指輪10円…。利益なしの販売とあって大勢の人が買い求め、予想外の完売となりました。

前回までは軽食を取りながらの文化交流でしたが、今回は食堂、喫茶店等がある商店街での開催でしたので、温かい緑茶・ウーロン茶コーナーを設けるのみにとどめ、自分の好みのものを口にさせていただく目的で各店どこでも使用できる100円の割引券を発行しました。商店街に来られた人それぞれ割引券を手し、食べたり買い物したりしました。

初めての試みでしたが、今井会長を始めとする地元商店街の協力とスタッフの綿密な企画のもとに無事、公道上での春節祭を完成することが出来ました。関係された方々へのお礼と感謝を申し上げ、これをベースに更に改善しみんなが喜んでいただけるものにしたいと思います。

## 国際スポーツ交流

今年で14回目となる在住外国人と日本人との“スポーツ交流”が3月12日午後1時より勤労者体育センターに於いて行われ、大勢の参加者がとてもいい汗を流しました。

81名の参加者は審判の笛の合図で準備体操を手始めに、色々な国の言葉が飛び交う中で、それぞれ得意な種目に分かれ和気あいあいとスポーツを楽しみました。

中国の方々はバドミントンが上手で、時間が来てもラケットを放さずゲームを楽しんで、笑いが絶えませんでした。

今年も沼津海洋少年団の子ども達の参加があり、とても元気で礼儀正しい一面を見せてくれました。



### ☆国際スポーツ交流会の感想☆

#### ●永尾ひとみ（海洋少年団父兄）

中国系のアジア人と思われる方が多く、言葉が分からず戸惑いましたが、スポーツを通してだったので、言葉の壁をあまり気にすることもなく、楽しく過ごせました。大人が多かったので、子供の外国人ももっと参加してほしいと思いました。

#### ●西山 大（4年生）

国際交流では、サッカー・ドッジボール・バスケットが面白かったです。でも女子はドッジボールが苦手なので、卓球があってもいいなと思いました。中国の人もたくさんいたので。去年よりも外国の人が少なかった気がします。もっとたくさんの方が参加してくれるとうれしいです。

#### ●石渡 美咲（6年生）

交流会中は、あまり外国の人達とスポーツをやらなかったけれど、最後の10人11脚は、外国の方とふれあえて良かったです。私が特に楽しかったのは、バドミントンです。隣でバドミントンをやっていた外国の方々の上手さに驚きました。（\*^\_\*）

## 「日本語を語る会」 講師勉強会

2月19日(日)、第一地区センターにおいて「日本語を語る会」講師勉強会が行われました。

午前は、静岡大学留学生センター教授の原澤伊都夫先生による「異文化コミュニケーション」の講座で、理事を含む講師28名が受講し、小グループに分かれて「バーンガ」というカードゲームを体験しました。

このゲームはグループによりルールが違いますが、いっさい話をしないという制約があるため、途中でメンバーが入れ替わってもお互いルールの確認ができません。インフォメーションギャップによる強いストレスを感じる体験で、日本で生活する外国人の方が感じている“異文化体験の中でのストレス”に気づくことができました。

午後は、常葉学園大学講師の徳山道子先生による「みんなの日本語」を使った「コースデザインを考える」講座でした。

本来ならば日本語学習者の背景が皆違うため、それぞれにあったコースデザインを考えて教案・教材を準備することが必要であることを改めて実感し、学ぶことができました。



## カラマズーへ行きますか？

～姉妹都市・米国カラマズー市への  
沼津市民訪問団 団員募集～

姉妹都市カラマズー市で  
ホームステイを経験してみませんか。

### ●Aコース

期 間 7月20日(木)～7月28日(金)  
7泊9日

訪問都市 カラマズー市のみ

費 用 198,000円

募集人員 7名(最少催行人数)

### ●Bコース

期 間 7月20日(木)～7月31日(月)  
10泊12日

訪問都市 カラマズー市、シカゴ、ロサンゼルス

費 用 333,000円

募集人員 8名(最少催行人数)

### A、Bコース共通事項

対 象 市内在住・在勤・在学または協会員  
で心身共に健康で団体行動のできる方。  
(18歳以下は保護者同伴)

申込方法 所定の参加申込用紙を事務局まで持  
参または郵送(必着)

申込開始 4月21日(金)から

## 岳陽市への留学生募集

友好都市(中国湖南省岳陽市)への  
公費短期留学生を募集します。

期 間 平成18年9月から3ヶ月

留 学 先 湖南理工学院(国立4年制大学)

資 格 高校卒業以上で沼津市在住あるいは  
在勤の健康な人

費 用 3ヶ月間の学費・宿舍費・教材費は  
免除。

定 員 2名

申し込み 所定の申込書(小論文添付)、写真2  
枚、最終学歴の成績証明書、卒業証明  
書を郵送または持参

申込期限 平成18年5月31日(水)

※6月上旬に行われる選考会にて2名が選考さ  
れます。

## 平成18年度総会のお知らせ

・日時 平成18年5月13日(土)  
総 会 午後6時  
懇親会 午後7時15分  
(会費3,500円は当日受付にて)

・会場 ブケ東海沼津  
総 会 フェニーチェ  
懇親会 アドリア

・内容  
総 会 平成17年度活動報告  
平成17年度決算報告  
平成17年度監査報告  
役員改選  
平成18年度事業報告(案)  
平成18年度収支予算(案)

その他

懇親会 技能五輪世界大会PR

当日受付にて18年度の会費を納付できますの  
で、ぜひご利用ください。

信物霧下  
そば **安田屋**

本 店 ☎962-1127  
大手町店 ☎951-4676

SIGN BOARD・DESIGN & PLANNING

SIGN  
LAND

(有)田中看板店

〒410-0046 沼津市米山町2-2

☎(055)921-2712(代)

FAX(055)924-2032

お茶と海苔

創業62年 **茶の香 陵**

静岡県沼津市御幸町19-5

TEL(055)931-1133(代)

FAX(055)931-1146 番

いい旅、  
かなえるお手伝い。

世界を結ぶ信頼のネットワークで、あなたの旅を応援する  
近畿日本ツーリスト。一枚のキップから海外プランまで、  
旅のことなら何でも、お気軽にお尋ねください。

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

**近畿日本ツーリスト**

沼津支店 TEL:055-963-0496